



# 麻布幼稚園だより

令和4年5月号  
港区立麻布幼稚園  
園長 酒井 正美

園庭には、こいのぼりが気持ちよさそうに泳いでいます。園庭の木々には若葉が萌える季節となりました。

入園、進級から1ヶ月が経とうとしています。どの学級の子供たちからも、担任への信頼感を基盤に新しい環境での生活リズムが感じられるようになってきました。



朝、お家の方と離れがたいということがあっても、担任との関わりを通して遊び始める様子が見られます。

毎朝、登園してくる子どもたちや保護者の皆さんと挨拶できることをうれしく思っています。年長・年中組では、立ち止まり、目を見て自分から挨拶をしてくれる子が多く、とても素敵だなと思います。年少組では、ニコニコ笑顔の挨拶をしてくれたり、チラリと顔を見たりと、その子なりの挨拶をしてくれる姿が見られます。「おはようございます。」と、しっかり挨拶ができるようになってほしいという願いはあっても、無理に言わせようと急がなくても大丈夫です。挨拶の仕方を伝えることは大事なことでありますが、大人同士が気持ちよく挨拶を交わす姿に触れることから、徐々に相手に挨拶をしたいという気持ちをもったり、挨拶をする心地よさを味わったりして行ってほしいと思います。形だけではない、心が通う素敵な挨拶ができるようになることは、子どもたちの一生の宝物になることでしょう。

先日、年長うめ組、きく組は、近隣の狸穴公園へ徒歩遠足に出掛けました。担任や園長、主事の他に、大島地域コーディネーターにもボランティアとして同行していただきました。地域コーディネーターは、小学校・幼稚園に1名ずつ配置されています。幼稚園では、昨年度から活動を開始しており、行事や活動の補助のボランティア募集等、様々なお手伝いをいただいています。入園当初の3歳児の見守りでも活躍をしていただきました。

大人の足では「すぐ」の公園であり、お家の方と遊びに行ったことのある幼児も多い公園ではありますが、幼稚園の友達や先生と行った徒歩遠足は、格別だったようです。交通安全に気を付けながら友達と並んで歩き、とても急な坂道「鼠坂」を下りて上って行ってきました。学級の友達や先生と公園の遊具や自然物で遊んだこと、お弁当を食べたことはもちろん楽しいことでした。ですが、自分の足でしっかりと歩き行ってこられたことがうれしく、自信につながったのではと思います。

今年度、麻布幼稚園では、体を動かす活動を積極的に取り入れていく予定です。天気の良い日は戸外遊びを十分に楽しむことを基本とし、体を動かす楽しさを味わえるよう、また、様々な体の動きにつながる活動を工夫していきます。